ヒメフタバラン（ラン 科）　　**兵庫県：Aランク**

Listera japonica Blume　　**環境省：－**

種の概要

山中樹林下にはえる。茎は直立し、高さ5-30cm、軟弱で4角形。葉は卵状3角形、やや鋭頭、基部は切形または浅心形、長さ幅ともに1-2cm。鱗片葉はない。花は3-5月、2-6花がまばらにつく。花被片は反曲し、長さ2-3mm、紫色の着色部がある。萼片は狭卵形、鈍頭。側花弁は線状長楕円形で鈍頭。唇弁は長さ6-8mm、くさび形で2深裂し、裂片は線状長楕円形で長さ3-5mm、中部に汚黄色の丁字状の隆起がある。蕊柱は短い。

（画像無し）

国内分布

本州（宮城、山形県以南）、四国、九州、沖縄

県内分布

西播

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○

特記事項

県内では１ヶ所に知られているが、最近は確認できない。

保護上の留意点

自生地である樹林の保全が重要である。